

七面山・櫛形山

山 域：南アルプス前衛の山

実施日：2021年10月29日（金）夜～31日（日）

参加者：Y尾、H川、M川 以上3名

天 候：30日快晴、31日曇り時々雨

行 動：11/29 20:10JR 法隆寺駅集合、名阪・伊勢湾岸道・新東名・中部横断自動車道

11/30 01:45～05:05 道の駅 ⇒05:28～52 表参道登山口山門 ⇒09:11 敬慎院山門

⇒09:22 富士山展望台 ⇒10:22 七面山 ⇒10:50～54 希望峰

⇒11:14～38 七面山 ⇒12:07 敬慎院 ⇒14:00 神通坊（北参道登山口）

⇒14:53 表参道登山口（車回収） ⇒15:45 エコパ伊奈ヶ湖キャンプ場

11/31 07:10 出発 ⇒08:29～09:36 身延山久遠寺 ⇒10:35～12:50 なんぶの湯

⇒17:53～18:55 針テラス ⇒19:25JR 法隆寺駅

昨年から計画し、事情により3回の延期を経て今回の実施となった。金曜日の夜に奈良を出発し身延町の道の駅で仮眠、翌早朝表参道の登山口に到着。一番奥の駐車場はほぼ満車状態。ここから七面山敬慎院までの表参道は多くの人を利用するためか急登もなくよく整備されており、快晴の中木漏れ日を浴びながらの登山道は気持ちよい。

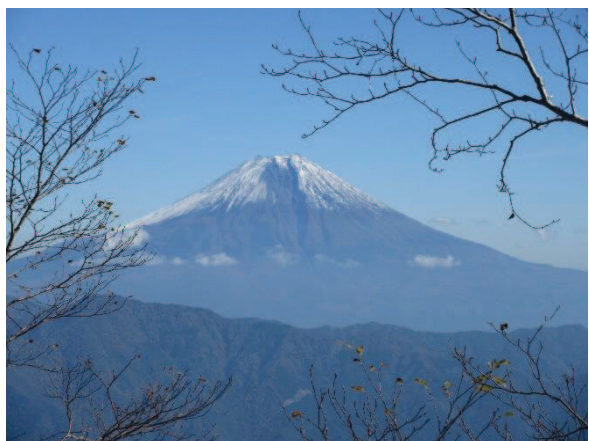
参道沿いには石灯籠が並んでおり1丁目から始まり敬慎院境内が50丁目になっている。境内の



表参道入口の山門



愛鷹山塊（左手奥）と駿河湾、その奥に伊豆半島



雪をまとった富士山、今年は雪が少ないようだ



敬慎院から七面山に続くカラマツ林の道

一面には富士山展望台があり、快晴の下遮るものがなく駿河湾から伊豆半島そして正面に雄大な富士山を望むことができた。七面山頂上へはここから山道となる。カラマツ林の明るい緩やかな道を過ぎ急坂を上り切り樹林の中の道を行くと明るい七面山の頂上に到着、広いが眺望はない。この先の希望峰は一旦下って登り返す。南アルプス南部の眺望がよいが狭い。七面山山頂に戻って昼食休憩後、敬慎院まで戻りそこから北参道を下山路にとる。



希望峰から聖岳（正面奥）



七面山敬慎院

こちらは距離も長く標高差も大きいいためあまり歩かれていない。下山後は表参道登山口までもどり車を回収して、楡形山の麓にあるエコパ伊奈ヶ湖キャンプ場でのんびりテント泊。結構にぎわっている。

翌朝は朝から雨がぱらつき、9時頃には降雨予報のためあっさり楡形山登山を中止、身延山久遠寺に参拝してから温泉経由で帰ることに変更。久遠寺は日蓮宗総本山、境内は広く厳かな雰囲気にもまれていた。観光案内所で温泉情報を聞くと 10:30 からなので、土産物店を物色して時間調整、その後南部町の温泉「なんぶの湯」に立ち寄り一般道を利用して新清水 IC から新東名に入り、夕方には無事奈良にかえることができた。



七面山頂上（左からH川、M川、Y尾）



身延山久遠寺三門